

QoI 剤耐性いもち病菌が確認されました ～ 水稻いもち病防除はQoI 剤以外の薬剤で実施してください ～

1. 現在までの発生状況と今後の発生予想

県内各地の葉いもち及び穂いもち発生ほ場（抽出調査ほ場、QoI 剤（ストロビルリン系剤）を使用したほ場を含む一般ほ場等）から病斑を採取して耐性菌検定を行った結果、葉いもちでは検定した174ほ場中25ほ場で、穂いもちでは検定した118ほ場中36ほ場においてQoI 剤耐性いもち病菌が確認された（表－1）。

本年は全県的に葉いもちの発生が少なかったが、QoI 剤を使用したほ場の一部で葉いもちの多発生が確認された（図－1）。

以上のことから、全県的にQoI 剤耐性いもち病菌が発生しており、今後、QoI 剤を使用した場合は防除効果が低下し、いもち病が多発することが予想される。

2. 防除対策

次年度以降は水稻の防除薬剤としてQoI 剤（表－2）は使用せず、QoI 剤以外の薬剤（表－3）によりいもち病防除を行う。また、適切な薬剤の選択といもち病の基本的な防除対策を徹底する。

1) 耕種的防除

- ・種子更新を徹底する。
- ・育苗施設やその近傍に伝染源となる稲わら、籾殻を置かない。
- ・余り苗は発病しやすく伝染源になりやすいため、泥に埋めて処分する。

2) 薬剤防除

- ・種子消毒及び種子予措を適切に行う。種子消毒剤の防除効果を高めるため浸種水温は10～15℃を確保する。
- ・育苗期いもち防除は、ベンレート水和剤、ビームゾルのいずれかで必ず実施し、本田への持ち込みを防ぐ。
- ・本田の葉いもち防除として、QoI 剤以外の箱施用剤を使用するかオリゼメート粒剤を湛水散布する。
- ・側条施用剤を使用する場合は、ペースト肥料では側条オリゼメート顆粒水和剤又はツインターゴ顆粒水和剤、粒状肥料ではコープガード剤で行う。
- ・穂いもち防除として使用する水面施用剤及び茎葉散布剤はQoI 剤以外の薬剤を選択する。



図－1 QoI 剤耐性いもち病菌による葉いもちの多発生

表-1 葉いもち、穂いもちのQoI剤耐性菌発生状況

No.	調査市町村	葉いもち				穂いもち			
		調査ほ場数	検定ほ場数	耐性菌発生ほ場数	耐性菌発生ほ場率(%)	調査ほ場数	検定ほ場数	耐性菌発生ほ場数	耐性菌発生ほ場率(%)
1	鹿角市	3	0	-	-	3	1	0	0
2	小坂町	1	0	-	-	1	1	1	100
3	大館市	5	3	0	0	5	4	1	25.0
4	北秋田市	16	14	0	0	8	4	0	0
5	上小阿仁村	1	1	0	0	1	1	0	0
6	藤里町	1	0	-	-	1	0	-	-
7	能代市	12	7	2	28.6	15	10	7*	70.0
8	八峰町	2	0	-	-	2	0	-	-
9	三種町	6	1	0	0	7	2	0	0
10	男鹿市	4	2	0	0	3	3	0	0
11	大潟村	6	5	0	0	2	0	-	-
12	五城目町	6	5	0	0	3	2	0	0
13	八郎潟町	4	3	0	0	1	1	0	0
14	井川町	2	0	-	-	2	2	0	0
15	潟上市	6	3	1	33.3	10	8	1*	12.5
16	秋田市	12	6	0	0	12	10	1	10.0
17	由利本荘市	11	5	1*	20.0	11	9	2	22.2
18	にかほ市	3	0	-	-	3	2	0	0
19	仙北市	11	9	1	11.1	6	4	1	25.0
20	大仙市	50	44	7	15.9	24	18	7*	38.9
21	美郷町	41	37	12*	32.4	30	20	14*	70.0
22	横手市	32	25	1	4.0	11	10	1*	10.0
23	湯沢市	8	4	0	0	5	4	0	0
24	羽後町	2	0	-	-	2	2	0	0
25	東成瀬村	0	0	-	-	0	0	-	-
	合計	245	174	25	14.4	168	118	36	30.5

注1: サンプルは任意抽出であるが、*はQoI剤の効果が疑われるほ場を含んでいる。

注2: 耐性菌検定は秋田県立大学及び農業メーカーが罹病葉又は罹病穂から直接遺伝子診断を行った。

注3: 耐性菌発生ほ場率=耐性菌発生ほ場数/検定ほ場数

表-2 主なQoI剤(ストロビルリン系剤)

種類	成分名	農薬名
箱施用剤	オリサストロビン	嵐スタークル箱粒剤、嵐ダントツ箱粒剤 [※] 、嵐プリンス箱粒剤6 [※] 、嵐プリンススピノ箱粒剤6 [※] 、Dr. オリゼプリンスエース粒剤 [※]
水面施用剤	オリサストロビン	嵐キラップ粒剤、嵐スタークル粒剤
	メミノストロビン	イモチエース粒剤、イモチエースキラップ粒剤、イモチエーススタークル粒剤、イモチミン粒剤、オリブライ1キロ粒剤
茎葉散布剤	アゾキシストロビン	アミスターアクタラSC、アミスターエイト、アミスタートレボンSE

注1: ※は平成27年度版秋田県農作物病害虫・雑草防除基準に掲載の薬剤。

表-3 QoI剤以外の主な薬剤

種類	農薬名	成分名	対象
かん注剤	ベンレート水和剤	ベノミル	育苗期いもち
	ビームゾル	トリシクラゾール	
箱施用剤	アプライ箱粒剤、バイゲット箱粒剤	チアジニル	本田葉いもち
	ファーストオリゼ箱粒剤、Dr. オリゼ箱粒剤	プロベナゾール	
	ルーチン粒剤、ルーチンフロアブル	イソチアニル	
	デジタルコラトップアクタラ箱粒剤	チアトキサム・ピロキロン	
水面施用剤	オリゼメート粒剤	プロベナゾール	
側条施用剤	側条オリゼメート顆粒水和剤、コープガードD12	プロベナゾール	
茎葉散布剤	ツインターボ顆粒水和剤	イソチアニル・クロチアニジン	緊急葉いもち
	ブラシン粉剤DL・ブラシンフロアブル	フェリムゾン・フサライド	
	ノンプラス粉剤DL・ノンプラスフロアブル	トリシクラゾール・フェリムゾン	
	ラブサイド粉剤DL・ラブサイドフロアブル	フサライド	
水面施用剤	ビーム粉剤DL・ビームゾル	トリシクラゾール	穂いもち
	コラトップ粒剤5	ピロキロン	穂いもち

注1: 薬剤は平成27年度版秋田県農作物病害虫・雑草防除基準に掲載のもの。

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-881-3660

秋田県農業試験場 TEL 018-881-3326

掲載HP <http://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>